

# My American Memories

情報文化学科 2年 石川歩美

私は 8 月下旬から 12 月下旬まで約 4 ヶ月間アメリカのノースウェストミズーリ州立大学に留学してきました。出発当日、飛行機の中で隣の子と泣きながら日本を発ったのが私のアメリカ留学のスタートでした。



家族、友達との別れ。20年間住み慣れた土地との別れ。そんな不安を抱えながらアメリカに到着しました。アメリカに到着し、当たり前のように聞こえてくる英語。看板や標識ももちろん英語。なにもかも当然の事ではありましたが初めて来た土地で、目にするもの耳にするものその全てが新鮮でした。学校に着き更にその機会は増えました。ノースウェストミズーリ州立大学には現地の学生以外にも留学生がたくさんいるため、校内では様々な人種を目にし、それぞれの国の文化や習慣などを間近で見て感じ、言語を耳にする機会が多かったです。

## Class

私たちは **ESL** といったプログラムの中で4ヶ月間学

びました。授業は、Reading / Writing, Listening / Speaking, Grammar, TOEIC, American Culture という内容で組まれていました。Reading / Writing は、様々な文章を読みその文章を読むために必要な単語を覚え、テストを受け文章を読み進めていくという授業でした。担当の先生はとても明るく難しい内容もとても楽しく授業を進めてくれました。Listening / Speaking は、約 1 ヶ月に一度スピーチがあり、話す練習とクラスメイトの発表を聞くといったことが行われていました。担当の先生はとても穏やかな先生でとても授業が穏やかな雰囲気で行われていました。Grammar は、今まで日本で習ってきた文法の復習をメインに学びました。TOEIC は、TOEIC の基礎を徹底的に教えてもらいました。担当の先生は授業中に冗談をまじえてきたりとても面白い先生でした。帰国前に受ける TOEIC のスコアが伸びるか不

安でしたが、帰国後結果を見たらスコアは出発前より伸びていてとても嬉しかったです。American Culture は、パワーポイントを使ってアメリカの文化について紹介してくれました。



まずクラスには私たち NUIS の生徒の他に中国、サウジアラビアの生徒もいました。私は授業が始まり



まずはじめに感じたことは、彼らの授業に対する態度や意欲関心です。彼らは授業中、間違いを恐れる事なく、何度も手を挙げ発言していました。私は初めてその光景を目にした時、日本人の控えめで消極的な部分を一番実感した瞬間でした。彼らはとにかく自分の意見や感じている事、疑問に思った事を発言していて日本の授業とはあまりにも違い、自分にはこれができるのかという不安を抱きました。初めの頃は間違えてたらどうしよう。といった気持ちでなかなか手を挙げる事が出来ず、よく先生や周りに子に「**Ayumi ! Don't be shy!**」などと言われていましたが、少しずつですが授業にも慣れてきて手を挙げ自分の意見を言えるようになりました。自分の意見を持ち、更にそれを相手に伝えるということの大切さを学びました。



## Conversation partner

また授業とは別に週に 2 回 1 時間パートナーと英語で日常のことなどについて会話をするという時間が設けられていました私のパートナーは私より年上の April というお姉さんの存在でした。初めて会った時は文法もメチャクチャ。自分の伝えたい事もなかなか伝えられず単語と単語を繋ぎ繋ぎなんとか会話をしていました。しかし、彼女はそんな私の英語をなん

とか理解しようとしてくれました。少しずつではあったけど日に日に会話する事もできるようになり、話す内容も濃くなっていき、私はこの **Conversation partner** の時間が毎週とても楽しみになっていました。日本にいる家族の話や友達の話、日本の休日は何をして過ごしているかなど日常のことから、アメリカでの学校生活における相談など、様々な内容のことについて話しました。2ヶ月を過ぎた頃には一緒にご飯を食べに行ったり、買い物に行ったりするようにもなりました。町のメキシコ料理屋さんやタイ料理屋さん、アメリカにいながらも他の国のレストランに案内してくれたりし、たくさんの国の料理を食べることができました。最後、別れの時感謝の気持ちを込めて彼女に写真立てを贈った時、寂しさに泣いてしまい、優しく抱きしめてくれて涙が止まりませんでした。彼女に出会えて、彼女が **Conversation**

partner で本当に良かったです。もしまた会える機会があるのであればもっと英語を上達させ彼女にあいたいです。

## Events

大学には毎日のようにたくさんのイベントがありました。“Bearcats” というスポーツチームがあり、アメリカンフットボールではかなりの強豪チームです。休日には NUIS のみんなで Bearcats の T シャツを着て応援に行ったりもしました。会場には大学のチアリーディング部などもいて大勢で選手の応援をしました。私はフットボールを見るのは初めてで、ルールもよく分からない中での観戦でしたが、試合会場の盛り上がり、選手たちのプレーを見て、私なりに楽

しむことができました。



このほかにも大きなイベントとして、  
Homecoming, Halloween, Thanks Giving Day, Field  
Trip などたくさんのイベントで毎日がとても充実し  
ていました。特に思い出に残っているのが、Thanks  
Giving Day です。家族、親戚で集まってターキーや  
デザートなどをみんなで囲むといったアメリカのビ

ックイベントです。私は Lisa さんというのお宅にホームステイさせてもらいました。Thanks Giving Day 当日は Lisa さんの親戚のお家に行きみんなと一緒にターキーなどをご馳走になりました。各家庭でデザートなどを持ち合わせたりしていました。帰ってきからは Lisa さんのお宅でクリスマスツリーの飾り付けをしました。ツリーもアメリカンサイズで飾り付けも一苦労でしたが、日本で子供の時した以来だった飾り付けは想像以上にワクワクしとても楽しかったです。Lisa さんがお家の飾り付けが好きだったので、家の屋根のイルミネーションや家の玄関にサンタクロースがいたりとお家の中がとても賑やかでした。飾り付けを終え、みんなでクッキーやピザを作ったりとアメリカの家庭の日常を満喫しました。また、翌日本物のクリスマスツリーを森に狩りにも行きました。家の天井についていまいそいなほどの大

きなクリスマスツリーでその飾り付けも経験させて  
もらいました。





Halloween では本場アメリカならではの体験をいく

つもしました。町中が Halloween 一色になりとても賑やかだったのを覚えています。また町では子供たちが仮装して「Trick or treat」と言ってお菓子をもらってまわっていました。私たち NUIS の生徒も仮装し、様々なゲームをしたりみんなで大くさん写真を撮ったりと本場の Halloween を満喫する事が出来ました。





このようなビッグイベントの他にも大学には数多くのイベントがありました。音楽関係のイベントにペイントイベント、ビンゴ大会、DJ イベント、パレードなど数え切れないほどのイベントがあり本当に毎日が充実していました。



最後に

私は留学していた4ヶ月間で本当に多くの事を学び、経験してきました。なによりも物事にチャレンジするという事の大切さを学びました。挑戦する事を恐れなければ、例え失敗しても何か得るものがあるという事も学びました。また人と接することの大切さ、楽しさも経験する事ができました。ノースウェストミズーリ州立大学には優しい人がたくさんいてすれ違った時などには知れない人同士でも「Hi！」など話しかけてくれたりしました。このような些細な会話ですがコミュニケーションをとるためにはまず挨拶からはいるのはとても大切だったと思います。しかし、人と接したりコミュニケーションをとることは、決して楽しいことばかりではなく、壁にぶち当たる事もありました。なかなか自分の思っている事を伝えられないこともあり、苦労した時も多かったで

す。日本にいたら気づく事の出来なかったこともたくさんありました。当たり前のように通じる言語や、共通する文化。当たり前の中で生活していた分異国の地での生活では毎日が新鮮で毎日新しい発見がありました。時には、思わず驚いていもう習慣や文化を間近で見て困惑する面もありました。しかし、多くの人種が共に生活する環境だからこそ経験できたことだと思います。これもとても貴重な経験だったと思います。この素晴らしい経験をさせてくれた家族、先生方、友達、現地の人への感謝の気持ちを忘れずこの4ヶ月間で学んだ事を今後の生活に生かしていけた

らいいなと思います。

